



今村 定一

質問

新緑の美しい季節を迎えた湯沢町。一ヶ月前には雪消えを待って山菜採りを楽しみにして山に入られた人も多く、そして一喜一憂された人もまた多かったと思います。

前年から大切に保存し、収穫してきた場所、楽しみに入っただけならば根こそぎ採った後、あつちもこつちも同じように採った後を見ると怒り心頭、こんな経験をされた町民の方が多いと思います。

マナーの悪い町外者の入山が多くなった近年、このまま放置したなら町の山菜や山野草は無くなってしまふ。と嘆いている町民も多い。山菜も生活資源であり、また観光資源でもある。条例によって規制・入

山券の販売・監視員の設置等々の策を町として積極的に関わって行くことが重要と感じているが、町長の考えを伺う。

町長答弁

山菜も生活資源であり、また観光資源でもある。その考えは同じ思いであります。またマナーの悪い町外者の入山が多くなったことも猶予しています。いま国有林野で許可制や監視員を置いて入山規制をしているのは苗場山地区だけでありますが、規制の徹底には非常に苦労されているように完全には出来ないようであります。このような話は私も直接耳にしているのので、できるだけ早い時期に何とかしたいと思っています。機会あるごとに中越森林管理所の人や前橋営林局長か

**山菜も町の宝、
条例で町外者の規制を**

ら話を聞いたり、お願いをしている状況であります。現在同じ問題で対応している他の市町村もあるようなので、情報収集の指示を出したところであります。町の条例で規制をするには細部にわたって関係機関等々と協議を重ねなければならぬ問題でありますので時間を要したいと思っております。

質問

自然を愛する町長として、前向きな考えに、心強く思います。相手が自然産物で限りがあるものですか、できれば来年の春までには方向が示されるように早急に取り組んでいただきたい。

町長答弁

町外者のマナーの悪さは十分承知していますので、

直ぐにでも実施したい気持ちであります。町民の生活資源として、観光資源としての山の宝、これらの保護と安心して採取できるように、来年の春を目標に取り組んでまいります。

**「住んでみませんか」
キャンペーンの進捗
状況と支援策について**

質問

人口増加策としての「湯沢に住んでみませんかキャンペーン」について姿が見えていないが現状はどう進んでいるのか。

町長答弁

このキャンペーンについては昨年9月に定住促進担当者を配置し、今年度の事業実施に向けて準備を進めて来たところです。県の補助事業としての採択を受けるため町としての事業内容の提案発表会に参加をさせていただきましたので、正式認可を待っている状況です。事業の実施母体である協議会の立ち上げの準備中であり、移住や2地域居住を希

望する方の支援策として相談窓口を開設しています。総務省の「全国田舎暮らしガイド」のホームページにも参加して情報発信を進めているところです。また移住者や2地域居住者を主催とした編成委員の企画編集による季刊情報誌の発行も予定しているところです。この事業によって交流の輪が広がれば、経済波及効果につながれば、イメージアップによって観光産業全般に良い影響が出るものと期待をしております。



湯沢の大切な観光、生活資源である山菜を守れ